

意見交換 委員からの意見 一覧 (第3回 10月7日)

今日まで3回目の開催が行われたが、住民の合意形成というところが非常に大事だと考えている。町内の大きな団体の代表者が集って検討委員会というものを設置しているが、果たして皆さんの意見を集約されるのかどうか、非常に疑問である。町の大切な施設を作るにあたり、やはり住民の皆さんに広く現在こういうことで検討されていることがあまり広報等で周知されていないのでないか。

1 区会の意思を共有するために署名活動の中で、一番感じたことは、反対や賛成よりも知らない方が非常に町内にいるということがわかった。やはりどこに建てようが、今、町でこういう問題で検討し、悩んでいることを、一人でも多くの町民の皆さんに伝えるべきではないか。それは検討委員会というよりも町の責任としてやってほしい。

もう一つは、この検討委員会はむしろ7か所ではどうしてもうまく思案ができない。やはりもっと広く候補地を探すべきではないか、そういう柔軟な意見を上げることも検討委員会の一つの意義ではないか。

今の梅川の火葬場の問題点を解消できるような状況になれば、それが一番良いと考えている。現地での視察も含めていろいろな声を聴いているうちに第一候補地は魅力的な場所だと思う。ただし、反対の声も強いし、防災などを見るといろんなところが課題になってくるかと思う。

2 まず、反対の意思が強いところは、これから進めていくことはなかなか厳しい。それであれば、いまここで検討できないところをまず先に挙げて、残ったところを可能性として考えていく。それからそれ以外の所も挙げていく方法で進めていけばと思っている。個人的には梅川の今の火葬場の状況が改善できるのであれば、梅川が第一候補だとスムーズに進むと思っている。

3 何を出しても反対で、私たちの力じゃ進まないんでないかと思った。

批判しかなくて、人に伝わらなければどうやったら伝わるかという意見をくれればいいと、ずっと前回から思っていた。

いずれお世話になる場所だと思うが、10年後、20年後を見た場合に、人口も減ってるし、あの場所もボロボロになっている中で、使えなくなったらどうするかっていうことを前提に考えないといけない。

4 検討委員会で実際の状況、葬儀場からバスで火葬場に向かったときにどうなるっていうところが抜けていると思う。建てるのがそこはダメだっていう話になっているのでそういうのももっと考えた方がいいと思うし、今、待合所がないのに結局、火葬場行って葬儀場に戻ってまた火葬場に行くことになるので、その辺はやっぱりちゃんとしないとダメなのかなと思っている。批判じゃなくて前向きな話し合いをした方がいい。10年後、20年後、本当に建てて良かったなって思えればいいと、今、老朽化って言うことは、本当に壊れた瞬間どうするっていうのを考えてほしい。

個人的には町が進める第一候補で問題ないかと思っている。
周りに聞いてみると若い世代や子育て世代は、反対っていうのは少ないと思う。高齢者世代は割と第一候補について反対が多い。死や葬儀、また、火葬場についてのイメージが悪いのかと思っている。

ただ、前回の視察で大変ショックを受けたのは、本当にひどい。休憩所もトイレも仮設で、あそこで野辺の送りをしなければいけないと思うとちょっと悲しい思いになる。反対や批判だけじゃなくて、前向きな意見で早急に進めるような形で行ってほしい。

総合的に地理的条件・都市計画との整合性・防災計画との優位性、さらに今日までの本事業の経過と地域のかかえる将来性と地域発展の整合性、加えて本施設の特性的ランニングコストと都市公園とする整備の一体性を総合的に考察すると、行政提案第1位の都市公園予定地の一部を都市施設、火葬機能とコミュニケーション機能を完備した施設として建設が望ましく、都市公園予定地の一部を最良の適地として推薦する。

これをもって永年の重要な懸案である福祉施設、町営斎場の改善・供用に寄与・貢献を大きく期待します。

この施設がどこまでお金を施設費、建設費として出せるんだろうか、いつまで施設を建てなきゃいけないのかと、この前の町からの回答で2年の間に結論を出して建てたいというような資料だったと思う。私自身は2年と言わずに1年でも建ててほしい。あまりにも現斎場がみすぼらしいし、あそこで私は焼いてもらいたくないという気持ちがある。しかしこの部分については、そのための検討委員会なわけで、今役場の方で進めていてこの7か所の施設を中心としてまずは考えていくべきで、そしてお金の問題、期間の問題、そういうものを一つ一つ潰していかなければなかなか前へ進まないだろう。今回または次回の会の段階で結論を出す気持ちで話し合うべきではないか。

7か所見て、これはどうしようもないっていう場所もあったし、本来であれば都市公園予定地で進んでいたのが、説明不足ということで2回ほど説明会を開いていた。

自分は都市公園予定地がいいと前も言ったが、洪水になるかもしれないって言われたら、なるほどと思いつつながら気持ちがあちこち飛んでいる。

この委員会では多分候補地を決定するってことにはならないが、7か所かほかにもっといいところがあれば、そういうものを出して、最後にこの委員会として絞って行って、1か所2か所にして、町に申し入れるっていうそういう形をとっていかないとただここで一人一人毎回意見を出し合っても收拾がつかない。だから少しでもふるいにかけるっていうか一つずつ落として行って1か所か2か所決めて委員会としては役場の方に申し入れる、そういう形をとっていかればよいと思う。

一つは町民に周知徹底されていないというのがいろんな人から聞いて少し見えてきた。

今の火葬場があんなにひどいとは思っていなかった。私が現斎場に行ったのは遺族の控室がまだ古かったんですけど残ってる状況で見ていたから、あんなにもう壁が本当にボロボロっていう早急にこれはやらなければならないと思う。

民有地3か所はこれからもし交渉して買い取りをするのであれば、時間的な問題がある。それから住民の説明これも理解を得るためには時間がかかる。そうすると民有地3つははずした。

旧清掃センターは視察したときに解体したときに5億くらいかかる、5億かけて解体となるとお金がかかるためはずした。

9 栄小学校は使えるという状況だが、あのままでは使えない。そうすると一部解体するとなるとどのくらいの費用が出てくるのか、何億ってお金がかかるんじゃないかっていう話を聞いた、ここも外した方がいい。

第一候補になっている都市公園予定地は以前に余市町が洪水になったときに経験している人から、絶対あそこはダメだと。それから私もとにかく世界的に異常気象、こういう状態がでてきて、北海道も北の方、東の方で大きな被害をだしてる。そうすると絶対に洪水がありえないということはない。絶対あるんだという想定でものを考えていったときに、あその場所は外した方がいいと思う。そうすると今の斎場が残るが、もし使えるとすれば想定は2階建ての案が出てたけど、私としてはそこに火葬場だけを建てて、そして遺族の控室は、近くに作る。そしてバスで行ったり来たりする。とにかく急ぐってことを前提にしたときにしばらくの間これで我慢してもらおう。とにかく先に建てたらどうかと思う。

全体の説明会が2回あったが、その該当する地域住民の方の説明がまず第一じゃないかと思う。

40数年桜並木の事業をやった。その延長に今回の第一候補の都市公園予定地がある。今の現代技術ですから建築技術も進んでるし、景観上害さないとは思いますが、第一候補の都市公園予定地は反対。ただ、7か所を見て、そのほかの土地も見ていろんな意見を聞いたが、これじゃ先に進まない。

10 今の火葬場も見たが、最後に見送りする場所ではない。早急に決めて、いい点悪い点あると思うが、第一候補で心配するのは海拔。津波浸水区域にあたる。第一候補は当然、津波、洪水、そういうものを想定して決めないといけないと思う。そのうえで最終的にもうちょっと前向きに反対は反対でいいが、最終的に検討委員会は、場所を含めて決定されて認識しているので、この検討委員会の最終的な決定には従いたい。

火葬場を建設するとき火葬場は迷惑施設ではないってことを説明会等でよく聞くんが、そうではないってことを実際のデータは、迷惑施設であると示している。だからこれは距離が問題でコンサル会社の100m圏ってというのがあってそこに家が少ないから議論とちょっと違うんじゃないかと思う。

11 コンサル会社のところには100mのところには家が何件かある。そうじゃなくてもっと広いところで考えないとダメじゃないか。納得が得られないんじゃないかっていうのがあるから、これで言うと栄小学校はすぐ隣に家がある。ああいうところを選んではいけない。都市公園予定地は、500mっていうとホクレンのスタンドが500m。なんかそういうことを考えるとちょっと周りに家が多すぎるんじゃないかっていうのが私の考えで、北海道の条例規則にはいいかもしれないけど、ちょっと住民感情としてはどうかというのがあるので、都市公園予定地と栄小学校が1位2位になるのは、疑問がある。その他は適地じゃないと思う。

12	<p>現在の梅川の場所は、水がかなり出てくる。ただし、今の技術で作ることは可能。ただし莫大に予算がかかる。そこで何を優先順位に考えるかというところが大きいと考え、その中で出てきたのが、将来を見据えた広域という話が出ている。ただ、実際のところまだ絞っていない。やはり将来的に見越した広域の場所、そして短期間で完成が可能な場所というところで絞っていったらどうか。</p>
13	<p>現計画地とセンターは論外かと思う。のこり5か所のうち第1候補地は公平公正、技術的、客観的な調査結果から適地と判断する。残りについては報告書でもよくわからないので適地検討な状態にしてもう一回検討するべき。それで、ほかの方からも出たが、この他にまだ町内でふさわしいところもあるんじゃないかと、早急に対策を行うべきと考えている。</p>
14	<p>全町民がいずれ関わることなのに、区会代表っていうのが4人しかいない。これで全町民に知らされてるのは疑問があった。候補地がどこでどう決めたのかわからない。町民条例に公平に全町民に案内するというような条文があったと思うが、これに反しているのではないか。自分がいずれ関わることなのに知らない区会があるってこと、これでいいんだろうかと疑問がある。果たしてこの委員会がこういうメンバーでいいんだろうか。</p>
15	<p>候補地を視察して、なぜこの案件が急がなければならないのか本当によくわかった。梅川の現計画地が地すべりが発生してすごく狭くなっていた。それと報告書には火葬場利用時に工事車両と一般車両の動線の重複っていうのが文字だけ見ていたら理解できなくて、現地を見たことすごく狭い。あれでは火葬場利用しているときに工事を中断しなければならないのではないかと迷った。建物の壁、屋根の部分的な剥落、それから床などの落ちない汚れなど、気持ちが減入りそうだった。老朽化が急に進むわけではなくもっと早く建て替えを決断しなかったのか。</p> <p>建替えの適地、旧栄小と比較した結果、都市公園予定地とした。理由は敷地の広さとアクセスの良さ、国道が近いということで、例えばタクシーに乗るって言ったときに比較的近い。それから公共の乗り物バス、JRの乗降により近い。それから適地としたときの問題点や対策、旧栄小学校も適地ではないかと迷った。ただこの場所は、丘陵地で落石、倒木、がけ崩れなどが問題。また、都市公園予定地を建設場所にしたときに気がかりは洪水が問題。</p> <p>大切な人を亡くして悲しくない人はいないと思う。そんな時に火葬場から外に出て、花とか木とか空とか見れて、ちょっと時間を過ごすことができたなら遺族の方は少しは癒されるのではないかと。選定などは、町民から選んでもらうって形で羽深先生にまとめていただき、そうすることで、すごくいいと思うし、この設備が30年後、50年後どう変わっていくのか、これは若い世代の方をお願いするしかないと思う。</p>

特に今回の問題は、土地の取得、周辺環境、双方から指摘のあったアクセス、利便性なんかも捉えているが、やはり今の梅川の斎場がどうにもならないという事を多くの委員が持ったと思う。そうした中で、土地を取得するという困難性。そんな事を考えると、候補地として町有地をピックアップしてそして適地を絞った、そしてそれに民有地を候補として今回の7か所の候補地を出したことは適切なプロセスだったと思っている。

16 土地を斎場に限って捉えるんじゃないという考え方。都市公園としての機能なんかも、どれだけ費用かけられるか問題があるが、十分地域の皆さんとお話しをしてもらった方が良いと思っている。そういう中で地域の黒川から見る斎場のイメージというモノもたくさんいただき、そういうモノがああ場所にできたのなら、皆が心配されているような観光面とか、桜づつみとか、解消するような立派なものを建ててほしい。そして梅川は、現地視察した結果、迫っているということを考えると本当にどうかと。今の梅川でやれるのならこんな良いことはないと思いますが、今まで何回か工事を重ねてやれなかった、そして敷地も狭くなったことも考えると、先ほど出てきましたけどできないことはないと思う。やはり土地取得の困難性を考えるといつまで時間をかけられるのか、その辺が争点になってくると、現況の施設を見る限り、あまり時間はないと感じる。

7か所のうち民有地を買収することを考えるとやはりない。栄小学校もわからない。都市公園と梅川しか残らない。

梅川については、触らないほうが良い。地下水の問題でなくてあそこは元々盛り土である。だから削っても増やしても安定しない。だからあそこはやめた方が良い。そうすると都市公園しかない。都市公園はご存じの通り地元の問題があるから、にっちもさっちもいかない。今の中では、都市公園で考えて地域と話し合ってみるしか方法はない。話し合ってみてダメであれば次という話しになりますが、まず地域の方々と話しをしないことには何も進まない。

17 今、梅川の斎場は、3炉をだましまし使っている。年間330回、毎日使っているような頻度。いまメンテナンスで年600万円かかっている。それは毎年使っていけば増えてくる。公共施設だから基本計画・設計・工事3年かかる。その間、年600万かかる。決まるまで3年とか5年とか10年とかわからないけど、ただ地元住民との合意がなければできない。町の総合計画や都市計画審議会にかけても、その時間をかけられるか。結論として、ここでは、梅川と都市公園しか空いていない。でも梅川はやめた方が良い。話し合ってもどうしてもダメであれば、ただその時にコンパクトシティーと言っているんだから、このところのゾーン、ニッカのところ観光ゾーン、今の都市公園のところを行政ゾーンにして町役場をあつ都市公園に持って行ってそこに斎場を作りますよくらいの話しにしなければ地域も話しをするわけがない。町が腹をくくって地域と話しをしなければ都市公園に作ったって、だから7か所の中に候補地としては2か所になりましたけども、梅川については、ちょっと難しい。地域と都市公園について話しをすべき。

総合計画に載せた後、梅川の方は、設計・工事で3年。その間梅川を動かさないといけないから、あの待合所はものすごく恥ずかしいので、炉はだましまし使いながら、待合所はその間、プレハブでもいいから仮設の待合所を作って、本施設ができるまでは使っていくしかないんでないか。これで結論づけることはないんだけど、委員会で出す結論はそれしかないと思っている。

今から他の土地はどうかのとは、私のところで作ってくださいというくらいの所であれば、これは絶対進まない。こういうことを町長や町で地元で説明をしなければ進まない。